

第2期（2019年）事業報告

法人化後2期目の事業イヤーは、ラクロスの価値向上と中長期成長戦略の礎を造る年となりました。①最重点事業のオフィシャル/ラクマガ WEB を立ち上げ、人員も補強しイベントのスピーディーな情報発信を拡充、JLA の理念・ビジョン・バリューの浸透に注力してきました。②また、常時世界の TOP4 を目指す代表活動では、22 か国が参加したカナダ女子 U19 で過去最高タイの米加豪英に次ぐ 5 位の実績となり、ベスト 10 選手に日本人が選出され、日本人審判が決勝で主審を務めました。③12 月には、ルールを一本化した初めての関東ジュニアラクロストーナメントが開催され、12 チーム・約 300 名の小学生・父兄が集い、成長戦略の柱である本格的な若年層普及活動がスタートしました。④大幅な女子ルール改正は、新設のルール委員会が迅速な定着化を図り、⑤脳震盪や熱中症を防ぎ安全なラクロスの活動指針を打ち出す「医科学委員会」を新設、学者・医師・トレーナーの専門家が米国最先端のノウハウを活用し SG と連携し始めています。安全なスポーツブランドと若年層普及のシナジー効果を展望していきます。⑥マーケティング分野では準備委員会を新設、他スポーツ協会との人材交流を開始、JLA 外のラクロス団体への後援拡充等オープンプラットフォーム戦略をスタートしました。⑦また、2 年がかりで会員データベースを更改し、IT 基盤整備・業務効率化、経費削減が進み、コーポレート分野でもテクノロジースポーツを標榜していきます。アカデミーで輩出された A 級ライセンス指導者が各大学にも配置されガバナンスも更に強固になり、グローバルに文武両道でクリエイティブな人材を育成する学連の活動量も向上してきました。クラブ決勝では社会人・学生の観客が増加、技術レベルも着実に上がり、観るラクロスの魅力を高めています。運営面では、様々な専門分野、本業マネジメントに従事する理事が、オンライン会議で迅速に意識決定するパラレルキャリアスタイルが定着し、11 名の有給職員、各部・地区責任者との連携も密に進められています。新経費精算システム・コンカーにより経理基盤が向上し財務透明性が向上しました。

2019 決算では、収入は前年度比 11%増の 496 百万円（計画比+10%）、費用は前年度比 25%増の 520 百万円（計画比+11%）で、当期純利益▲23 百万円（計画比フラット）となり、純資産は 113 百万円になりました。主力の会費収入は▲6%となり競技人口の中期的な横ばいが継続しています。管理会計を一部導入し税効果を効かせるなどの経費コントロールを進め、収入の多様化と成長戦略を展望し、メディア事業に経営資源を投下し、今後益々、会員の皆様に適切に情報公開するオープンな組織文化を定着させていきたいと考えています。